

SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 2 月 1 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
自然豊かな駿河湾と清水港を守り、地域社会に貢献する安心安全、快適な海上交通サービスを提供する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
世界遺産・富士山&三保松原、清水港という恵まれた観光資源を活かした乗船体験クルーズ。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
	静岡市と連携しながら、子供達の乗船体験クルーズを実施する（30件目標）。また、県内外の小学校へも展開を図るべく、旅行代理店を通じた周知活動を積極的に行う。	県内外の小学校計106校（6,435名）の乗船体験クルーズを受入れ、また各旅行代理店を通じ、地元企業と共にSDGs観光商品の企画開発、及びセット販売についても積極的に展開した（令和4年度静岡市SDGs連携アワード受賞）。	静岡市と連携しながら、子供達の乗船体験クルーズを実施する（県内外の小中高等の学校100校目標）。また、県内外へのさらなる展開を図るべく、旅行代理店を通じた周知活動を引き続き行う。
	交通の結節点となるべく、各交通事業者とも連携した水上バスの運航を計画し、海上交通という視点から地域の交流人口を増やしていく。	市内交通事業者2社と共に交通+観光がセットされた商品の販売（清水港まぐるきっぷ）、また清水港内での水上バス（主に三保羽衣ライン）年間乗船者数25,000名達成。	交通の結節点となるべく、各交通事業者とも連携しながら、海上交通事業者として地域の交流人口をさらに増やしていく。水上バスにおける年間乗船者数25,000名を目標とする。
	近年、甚大化する台風や海象の変化に迅速に対応すべく、社内における災害避難訓練を年2回以上実施する。	清水マリンターミナル合同による防火避難訓練への共同参加のほか（年2回）、自社による海難訓練（フェリ-富士含む）を毎月実施。	近年、甚大化する台風や海象の変化に迅速に対応すべく、清水マリンターミナル合同による防火避難訓練への積極的な参加（年2回）、及び自社における海難訓練を毎月実施する。
	三保棧橋において周辺の景観を損ねないよう、棧橋の保全を行っていく。また、三保棧橋付近の海岸に漂着する海洋ゴミの清掃活動を年2回実施する。	社内全部門（運航管理本部・営業部・経営管理部）による三保棧橋周辺清掃を7月に、運航管理本部による清掃を9月に、合計2回実施した。	三保棧橋において周辺の景観を損ねないよう、棧橋の保全を行っていく。また、三保棧橋付近の海岸に漂着する海洋ゴミの清掃活動を年2回実施する。

（記載上の注意）

- 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	富士山清水港クルーズ株式会社	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	1 事業所
2	業 種	6. 運輸業	
3	従業員（構成員）数	66 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役社長
		氏 名	大井 一郎
5	所 在 地	〒 424-0922	
		静岡市清水区日の出町10-80 マリンターミナル3階	
6	ホームページURL	https://www.shimizu-cruise.co.jp/	